

アングロカステ

Angulocaste

ラン科アングロカステ属



主な品種

生産者オリジナル品種

花色 ● ● ● ○

出荷時期 2月～7月

特性

アングロカステは洋蘭の一種で、中南米産のリカステ属とアングロア属を人工交配させ育種した品種です。花の形は壺型の花をつけるアングロアと、三枚の開いたがく片をもつリカステの中間形であり、肉厚おむすび型をしています。花の大きさは10～15cm。

日本での種苗登録は現在1件のみであり、名前が登録されていない未登録種が数多くあります。その生態が未だよく解らず、世界的にも珍しい品目です。シンビジウムやコチョウランのような蘭専門の栽培農園や優れた愛好家でも花を咲かせることは非常に難しいとされていますが、三重の玉城町にある『あうんフラワー（株）』では10年の歳月をかけて、世界で初めてアングロカステの量産に成功しました。